

乗って残そう近鉄養老線 ～電車に乗って生まれる心のゆとり～

赤字が続いている近鉄養老線の存続について、沿線の3市4町（大垣市、桑名市、海津市、養老町、神戸町、揖斐川町、池田町）は、近畿日本鉄道（株）と平成16年8月から同線の現状分析や利用促進策の検討を重ね、最終的な方向性の協議のため、中部運輸局・岐阜県・三重県・近畿日本鉄道（株）を含めた「近鉄養老線に関する研究会」を平成17年12月27日に設立して、現在に至るまで協議を続けてきました。

近鉄養老線存続に向けた協議の結果、次のとおり合意されましたのでお知らせします。

- 運営形態は、近鉄が所有する線路を使って人を運ぶ「上下分離方式」を採用し、近鉄子会社と近畿日本鉄道（株）に分離します。近鉄子会社は、線路と車両などを近鉄から借りて運営します。
なお、新会社の運行開始は今年の秋頃の予定です。

- 近鉄子会社に対する金銭支援としては、赤字額の2分の1を沿線の3市4町で補助します。

支援は平成19年度から行いますが、**平成19年度は近鉄の平成18年度固定資産税額を補助します。平成20年度以降は経営状況に応じて補助していきます**（ただし、平成20～22年度の補助については、毎年度3億円を上限に設定されています）。

- 沿線3市4町の平成20～22年度までの金銭支援額（負担割合）については、均等割50%、営業キロ割20%、駅舎割20%、人口割10%とし、各項目における各市町の持分を負担することで合意しました。各項目の支援額を3億円で試算した場合は次のとおりです。



みんなで近鉄電車に乗りましょう

市町名	均等割50%	営業キロ割20%	駅舎割20%	人口割10%	合計	支援額	負担割合
大垣市	21,428,571円	13,264,213円	15,555,556円	10,935,479円	61,183,819円	61,180,000円	20.39%
桑名市	21,428,571円	10,696,542円	11,111,111円	9,376,362円	52,612,586円	52,610,000円	17.54%
海津市	21,428,571円	16,103,264円	11,111,111円	2,662,044円	51,304,990円	51,310,000円	17.10%
養老町	21,428,571円	9,411,662円	6,666,667円	2,196,272円	39,703,173円	39,700,000円	13.23%
神戸町	21,428,571円	5,468,304円	6,666,667円	1,405,479円	34,969,022円	34,970,000円	11.66%
揖斐川町	21,428,571円	831,884円	2,222,222円	1,767,274円	26,249,951円	26,250,000円	8.75%
池田町	21,428,571円	4,224,132円	6,666,667円	1,657,089円	33,976,459円	33,980,000円	11.33%
合計	150,000,000円	60,000,000円	60,000,000円	30,000,000円	300,000,000円	300,000,000円	100.00%

(万円止め)

◎以上のように沿線市町で合意しましたが、今後養老線が存続してゆくためには、皆さんが電車に乗っていただくことが重要です。

みんなで乗って残そう養老線を心掛けていただきますよう、お願いします。